

## 公共施設マネジメント意見交換会の概要（6月30日実施分）

### 1. 開催日時・会場

<西武地区>

日 時 平成30年6月30日（土） 午前 9時30分から午前11時30分

場 所 西武公民館 2階 大会議室

<豊岡地区>

日 時 平成30年6月30日（土） 午後 2時30分から午後 4時50分

場 所 市民活動センター 3階 活動室1

### 2. 内容

①開会あいさつ（田雑部長）

②市役所及び市民会館・中央公民館の耐震化についての説明（増田主幹）

③意見交換会（浅見課長、岩田政策推進室長、増田主幹、大石主幹）

④閉会（浅見課長）

### 3. 参加者数

<西武地区>

参加者 31名

<豊岡地区>

参加者 46名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

※ 応答における表記の例

（公マネ）：公共施設マネジメント推進課

（政策）：企画課政策推進室

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<西武地区>

No.	発言要旨	応答
1	<p>・昨年のワークショップに参加していた。本日の説明では、ワークショップで出た市役所機能の分散配置という意見は無くなっている。</p> <p>また、西武公民館で放課後子ども教室に関わっているが、子ども達が参加するためには市役所に行って申込みをする必要がある。豊岡の住民は近いが、その他の地区の住民は車で行く必要があり地域によって差があると感じる。今回の意見交換会には、これまでの説明などで示されていた市役所に求める理念や機能については何も書かれていない。</p>	<p>(公マネ) 分散配置が必要ということは意見として承る。市役所の機能やあり方については、公共施設マネジメントとの共通の課題である。地区センターの機能も並行して協議している。放課後子ども教室については、具体的な話であるため、まだ先のこととなるが、課題として検討する。</p> <p>市役所の理念については説明が不足していたと思う。どういった理念とするかは、以前に検討したコンセプトが根底にある。市役所が市民の方と一緒に活動できる場となることを考えている。</p>
2	<p>・狭山市との合併を協議していた頃、統合した庁舎を造らないのかと前市長に聞いたことがある。その時は「まだ使えるから使う」という答えであった。</p> <p>資料の中にはC棟のI s 値の記載がない。30年間でC棟はいずれ建て替えることとなる。何にいくらかかるのか示してもらいたい。</p> <p>・パターンごとに30年間でかかる費用説明して欲しい。パターン4(シート73)のところで総額の説明がない。</p>	<p>(公マネ) 市の合併の時に庁舎を残すという見解を示していたのは平成16年の時のことである。平成21年に耐震改修促進計画を策定し、その中で耐震診断が必要となった。平成25年に耐震二次診断を行い、耐震性能が不足していることが判明した。C棟は平成2年の竣工で新耐震基準を満たしており、I s 値0.6以上は確保できているためこのまま使い続けるつもりである。</p> <p>庁舎の事業費については、A・B棟を建替えた場合、現在の組織・職員数を前提としている。将来職員数が減るならば面積を減らすことが可能である。市民会館は現在の利用状況を鑑みると、1,000人規模の興行はあるものの事業の回数は少ない。市民活動の利用としては700席規模の利用が多いのではないかと想定している。席数を減らす代わりに舞台については、音楽や演劇などでも使い勝手が良いよう整備したい。財源については内訳を資料に記載した。社会資本整備総合交付金は建替えなどの際に活用できる交付金である。地方債も建設方法によって種類が異なる。種類によっては、国から地方交付税として一部が充当される仕組みがある。</p> <p>(公マネ) 30年間の整備パターンについては、まず耐震補強を行うのか建替えるのかで異なる。C棟は建設後30年程度しか経っていないため今後20数年経って老朽化が進んだところで建替えを行う考えである。パターン4は、建替え工事費81億円と市民会館の解体費用1.4億円、移転費用0.1億円である。C棟は計画的に改修し、約60年が経過する2044年には建替えを行う案である。改修を計画的に行うことで建物を長持ちさせることが出来る。金額は一般的な工事単価に床面積をかけて算出し</p>

		ている。床面積については現行の施設と同程度を想定したものである。
3	<p>・耐震基準は何年に新しくなったのか。市役所は耐震性能を有する構造としてもらいたい。</p> <p>・震度6以上の地震の発生確率が高まっているという報道もある。耐震化は進めてもらいたい。</p>	<p>(公マネ) 昭和56年である。説明したとおりI<sub>s</sub>値は0.6が基準である。しかし、地震の後にも使えるような性能を有するようにしたいと考えている。</p> <p>(公マネ) ご意見として承る。先日、大阪で大きな地震が発生した。ここで国の地震の推計も発表されたところである。市としても被害が出ないように対応していく。</p>
4	<p>・財政について市民の負担はどうか。</p> <p>・防災の機能について、現在、市の防災センターがあるが被害は受けないのか。他の場所に防災センターの機能を移すことについて案はあるのか。</p>	<p>(公マネ) 財政については、資料の中で財源を示した。公共施設の整備に使える費用の上限は検討している。その枠に収まるようにしていく。そのために民間活力を活用し、他の社会保障費などに影響が出ないようにする。</p> <p>(公マネ) 防災については、市役所を災害対策本部として使えるようにする。防災センターは現在の場所であり続けることがよいのか移転することがよいのか、公共施設マネジメントの取組みの中で検討していく。</p>
5	<p>・様々なパターンが示されているが、市としては複合化にしたいと聞いた。先程の質問の中で現行の大きさを試算したと言っていた。今後、人口が減少するという推計も出しているのだから、それを想定した組織や職員を想定する必要がある。</p>	<p>(公マネ) 当初、複合化は総合的に見てよいのではないかと考えた。市議会特別委員会で検討していただき、再度フラットな状態で検討すべきだというご意見をいただいた。今年度は、改めて幾つかのパターンについて再度検証を行っている。職員数の減少の可能性や駐車場の問題、周辺の交通状況などについても検証し、結果はまたご説明したい。</p>
6	<p>・民間活力の活用といったが、その場合の試算は出てきていないのか。</p>	<p>(公マネ) 事業費の試算は耐震診断を行った設計会社に委託して出したものである。民間の力を借りてということは、どのパターンで整備するか方向性が決まった後、財源の確保について考える際に検討するものである。民間の力を借りた方が有利であればそういった手法を選択する。</p>
7	<p>・ワークショップで出た意見を役立てて、市民の声を反映させて欲しい。充実した活動ができるような施設として欲しい。</p>	<p>(公マネ) 市民の声はよく考えて反映させていく。市民会館についても様々な意見がある。全体の条件も考えて整備していく。</p>

<豊岡地区>

<p>1</p>	<p>・市報で「30年で施設面積を3割減らす」、「新たなハコモノはつぐらない」という言葉を見た。4案あるが市民会館は同規模同用途で建てられないのか。現に建っているのだから法的にも問題ないと思う。更地にして新しく造るのは新たなハコモノを造ることである。</p> <p>・全く同じものを建てればよい。県に今さら聞くのは遅い。建築確認を申請してみないと分からないというのは、どんな建物でもそうである。</p>	<p>(公マネ) ご意見として承る。補足であるが、新たな需要に基づいて必要な施設は複合化などで対応していく。市役所と市民会館を複合化することでニーズに対応しながら施設面積は減らす考えである。</p> <p>市民会館が位置する場所は第一種低層住居専用地域で、区画整理事業上、都市公園である。本来新規に市民会館は建てることできない。再度建てることは特例措置として認められる可能性はあるが、市として建ててよいのか協議しているところである。</p> <p>(公マネ) 法令上の扱いについては、現在、県に確認している。まだ正式な回答はいただいていない。</p>
<p>2</p>	<p>・30年前に比べて入間市は良くなったが、市役所は古いままである。住民票をもらったりするだけで物足りなさを感じていた。私は学芸員の資格を持っているが、博物館は質が良くない。時代のニーズに合わせたものを市役所にも作って楽しめるようにしたらよい。ハードだけではなく、ソフトの視点での整備も必要である。豊島区は区役所の上にマンションを造り、費用をほとんどかけずに整備したという。他の自治体の見本となるような市役所にしてもらいたい。</p>	<p>(公マネ) ご意見として承る。整備方向が定まった後、民間からもアイデアをいただくことを考える。民間活力も活用しながら可能性を探っていく。</p>
<p>3</p>	<p>・昨年の段階で計画を策定するはずだったと思うが、一年先延ばしにした。市役所の建替えの問題は市民にとっても大事な問題である。市民の拠点、また行政や自治の拠点である。市民の意見を反映させる市役所として欲しい。意見交換会での意見やアンケートの回答はどのように扱うのか。</p> <p>・今の回答によると何の担保も無い。この市は重要な案件を住民投票で決める仕組みがない。全住民の投票によって決めるべきである。一年かけて意見を聞くのだから、住民投票の条例を作り、公募で委員を募り委員会を設置するべきである。市民会館のホールは効率性だけで考えている。市民ニーズに対応すべきである。</p> <p>また、耐震化しても長寿命化にならないという認識は誤りである。</p>	<p>(公マネ) 意見交換会は十分な内容説明ができていなかったこと、また広く意見を聞くために企画した。意見の反映の仕方としては、出た意見を取りまとめ、アンケートの回答とともに計画の原案を作成する中で反映させていこうと思っている。</p> <p>(公マネ) 市民会館については、現在の利用状況を各団体に聞いたうえで検討している。市民の発表の場としては700席程度にして、むしろ舞台設備を使いやすくして欲しいという要望であった。一流の音楽を聴くために1,500～2,000席欲しいという意見もあったが、その分費用は高額となる。市としては市民の活動の場として考えている。</p> <p>耐震化しても長寿命化にならないという説明が誤りという意見については、専門の設計会社に委託して聞いているが、やはり長寿命化にはならないとの回答を受けている。日本建築学会の長寿命化に関する考え方は調べているが、新耐震基準であれば計画的に保全を行えば100年以上持つという考え方が示されている。しかし、今の市役所は旧耐震基</p>

		準で建てられており、また計画的な保全は行ってこなかったため長寿命化も行う必要がある。
4	・20年先にはインターネット社会となって大きな市役所は不要となるかもしれない。耐震化してもらえばよい。C棟は耐震基準を満たしているとのことである。必要な機能は急ぎC棟に移しておく必要がある。	(公マネ) ご意見として承る。将来のことを考えれば大きな施設を造らずに対応していくという意見と受け止める。
5	・藤沢中学校や西武小学校などは市役所よりも古いが耐震補強のみで対応した。どうしても市役所は耐震補強以外にも様々な案が出ているのか。市役所も耐震補強でよいのではないか。	(公マネ) 市役所は災害復興拠点として位置づけており、災害が発生した後でも使い続けることができる強度が必要である。学校の場合は、地震発生時に倒壊すること防ぎ、児童生徒が逃げられることを考えている。
6	・マンションに住んでいる人も多いかと思うが、マンションの場合は40年経ったからといって建替えとはならない。恐らく大規模改修を行う。市役所は市民の税金を使っている。そのような考え方でよいのか。スケジュールを見ると来年の3月には計画が決まる。この意見交換会で意見を聞いたとまらないだろうか。住民投票が必要である。	(公マネ) ご意見として承る。市役所は職員のオフィスとしてだけではなく、個人情報を取り扱っていることや災害時の復興拠点となる必要があると考えている。
7	・市議会ではどのような議論がなされたのか。  ・賛成意見や反対意見にはどのようなものがあるのか。	(公マネ) 昨年5月に特別委員会が設置された。市役所の耐震化と公共施設マネジメントの取り組みについて議論している。 (公マネ) いくつかのパターンの検証をすべきということで、今年度再度検証を行っている。
8	・(シート51) 用途地域に適合しない建物を建設することとなるということであるが、これは都市計画の変更となるかと思う。一方、別の土地に移転する案では、市街化調整区域に建てることできないと言っており現在地で建て替えることは無理なのではないか。 ・事業費の1.4億円は解体のみか。それともホールの整備費用も含んでいるのか。また、駐車場については確定申告の時期はとても混雑する。市役所にホールを造ったら大変なことになる。	(公マネ) 都市計画については関係法令を調べながら、関係課と調整している。  (公マネ) 1.4億円は解体費用のみである。ホールは市役所の整備費用に含まれている。駐車場にはこれまでも課題として認識している。今年度の検証にも課題として挙げている。
9	・市の職員の中で一級建築士はいるのか。市民会館・中央公民館について議論しているが社会教育主事はいるのか。  ・入間市は20万人都市を目指して商業地域の核を作ろうということで、入間市駅周辺の整備がなされた。しかし、15万人でピークを迎え減少し始めている。川越市は人口がまだ増えているようだ。川越市役所は市役所の移転新設を検討したが耐震補強にして、他の施策にお金を使っている。喫緊の課題として耐震補強し、建替えは将来の課題としてよいのではないか。	(公マネ) 本日のメンバーにはいない。  (政策) 人口ビジョンを作って人口の推計を示した。人口減少を抑制するために様々な取り組みを行ない行政運営をしていく。一時的な大規模開発に頼るのではなく、一つ一つ施策を展開していく。

10	・耐震補強を選択した場合、20年後に建替えは必ず必要なのか。	(公マネ)20年と設定したのは設備の更新時期と重なるからである。建物自体の寿命はその時になって調べてみないと分からない。設備の更新費用だけでも相当な費用が必要となる。
11	・市役所と市民会館・中央公民館が一つになった場合、ホールだけでなく公民館の事業も行われるのか。	(公マネ) ホール中心に説明をしたが、貸し出しができるスペースも造るつもりである。
12	・積算根拠が分からないが、ライフサイクルコストを見ると複合化がよいように見えて誘導的である。駐車場のことを考えると無理があると思う。本当に市民の意見を反映できるスケジュールを考えてもらいたい。	(公マネ) 可能な限りスケジュールに沿って意見を聞いていくが検討する。
13	・災害時の拠点としては、健康福祉センターも使えるのではないか。市民の意見を聞く手段は良く考えて欲しい。市の職員が聞けるのは一部の人のみ。ケーブルテレビもあるので有効に活用してもらいたい。入間の財政状況は悪い、財政調整基金や投資的経費は少ない。複合化したいようであるが、市民の合意を得られないだろう。耐震補強を選択し、魅力ある施策を行って欲しい。	(公マネ) ご意見として承る。
14	・民間のマンションなど、市は耐震基準を把握しているのか。	(公マネ) 民間を含めての耐震化については当課の所管外であるが、耐震基準は全ての建物に対して当てはまるものである。Is値が0.6以上あれば倒壊の心配は少ない。0.3以下は倒壊の危険性が高い。*